

## 空さまざま—日本画に描かれた天地

会 期 2003年1月25日(土)～3月28日(金)

太陽が輝き、星が瞬く空に、人々は神秘を感じて憧れ、空を飛ぶことを夢見ました。また、月の満ち欠けや星の位置から時間や季節を正確に把握し、さまざまに名前をつけた雲の形状から天候を判断して、農業や漁業に活用してきました。このように、空には、季節や時間の微妙な変化が映し出されます。春の花曇り、夏の空に湧き出づる白い雲、秋の澄みきった高い空に浮かぶ月、そして冬の冴え冴えとした空は、それぞれの季節を代表する空の様相です。また、「曙」や「東雲」「黄昏」などは、空の様子で時間を表わす言葉です。

日本画では背景をあえて描かないことがあります。特に近代以降の風景画において「空」は時を限定、重要な要素として描かれています。東山魁夷《月出づ》は、樅の木が群生した山の奥に昇る朧月を描いた作品で、弧を描いて交差する稜線が画面に奥行きとモダンな印象を与えています。吉田善彦《春雪妙義》では、金箔を用いる独特の手法で描いた空に、春の穏やかな光の広がりを感じられます。

本展は、このような雲や大気の流れ、光のきらめきの中に、画家が見出した細やかな情感を描いた作品を特集するものです。日本画のコレクションで有名な山種美術館所蔵の上記2作品をはじめとする、さまざまな空の表現を通じて、描かれた季節のうつろいをお楽しみください。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日、2/12

会期中の休館日：1/27、2/3・10・12・17・24、3/3・10・17・24

観 覧 料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)、中小生：200円(150円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企画協力 山種グループ

### 関連事業

- ギャラリートーク 1/25、2/8、2/22、3/8、3/22 14:00～